

スマートフォンによるカード決済を導入
—観光とICTで地域経済を活性化—
（「新しい東北」先導モデル事業により支援）

- スマートフォンやタブレット端末を使ったカード決済を活用した実証実験を、アクセンチュア株式会社とコイニー株式会社が、会津若松市で開始します。（復興庁委託事業）
- イベントや観光地を訪れた観光客が、クレジットカードでの買い物ができるようになることで、旅行消費額の増加などの効果が期待できます。
- 実証実験は、9月21日から9月23日まで開催される「會津十楽」を皮切りに、会津若松の事業者の協力を得て、10月から約半年間実施します。

（詳細は別紙）



會津十楽

開催期間：平成26年9月21日（日）～9月23日（火）10時～17時

主催：サムライシティプロジェクト実行委員会

場所：鶴ヶ城本丸

- ※ 會津十楽に出展するすべての事業者が実証実験に参加します。
- ※ 會津十楽とは・・・会津若松市においては、福島第一原発の事故による風評被害の影響は依然として大きく修学旅行や教育旅行等は激減しています。そこで、蒲生氏郷公が作り上げた会津固有の制度であった経済と文化が融合した経済・文化振興策である「十楽」を復活し、例年行われている会津まつりと連動させ、風評被害を払拭し観光振興、地域振興を図る物産イベントが會津十楽です。

スマートフォンによるカード決済システムのイメージ



本システムは、事業者が持っているスマートフォン・タブレット端末に専用のカード読み取り端末をつけるだけで、いつでも、どこでも簡単に、買い物客が自分のクレジットカードで決済ができるというものです。

これらの仕組みを導入することで、以下の効果が見込まれます。

- ① 事業者側の初期費用を抑えることで、カード決済可能店舗が増加
- ② 旅行者（消費者）に便利な決済手段を提供することで、旅行消費額の増加

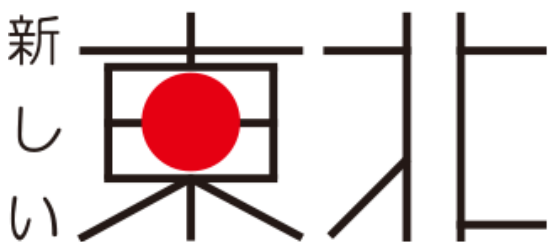
導入支援セミナー

會津十楽の翌日24日には、会津若松市内の事業者を対象とした導入支援セミナーを開催します。会津若松商工会議所の協力の下、10月以降約半年間に渡って通常営業時での実証実験を進め、実際に消費額の変動があったか等の効果検証を行います。

日時：平成26年9月24日（水）13:00~14:00、15:00~16:00（全2回）

主催：アクセンチュア株式会社、コイニー株式会社

場所：会津若松商工会議所 2階会議室（会津若松市南千石町6-5）



問い合わせ先：復興庁 観光担当
電話：03-5545-7463
03-5545-7230
参事官補佐 地主
主査 清水

別 紙

<プロジェクト概要>

「新しい東北」先導モデル事業の一環として、「スマートフォン等でのカード決済の導入を通じた地域経済の活性化プロジェクト」を会津若松市で開始します。本プロジェクトは、復興庁の委託事業としてアクセンチュア株式会社、コイニー株式会社が実施します。

スマートフォンやタブレット端末があればクレジットカード決済ができる仕組みを活用することで、

- ①事業者側の初期費用を抑えることで、カード決済可能店舗が増加する
- ②旅行者（消費者）に便利な決済手段を提供することで、旅行消費額の増加を図る

ことを狙った実証実験です。スマートシティ推進協議会を設立してICTを活用した地域づくりに意欲的に取り組むなど、情報通信技術との親和性が高い会津若松市で実施することとなりました。

<プロジェクト趣旨>

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて外国人旅行者数の大幅な増加が見込まれます。外国人旅行者の増加による経済効果を東北に波及させ復興を加速するためには、外国人旅行者が東北を旅行しやすい環境を整えることが重要です。今回の実証実験で十分な効果が確認できれば、スマートフォンを活用したカード決済環境の普及が加速されることにつながります。

<プロジェクトの流れ>

実証実験は、9月21日から9月23日まで鶴ヶ城で開催される「會津十楽」でスタートします。イベント会場の店舗は常設ではないためカード決済対応が難しい場合が多く、スマートフォン等を利用したカード決済導入による十分な効果が得られるものと考えています。

翌日24日には、会津若松市内の事業者を対象とした導入支援セミナーを開催します。会津若松商工会議所の協力の下、10月以降約半年間に渡って通常営業時での実証実験を進め、実際に消費額の変動があったか等の効果検証を行います。